

北海道庁立 深川中学校校歌

一、雪解の水を湛へたる 流れも遠き石狩の
ほとりに立てる学舎に 集へる学徒いや強く
御勅の旨を肝にしめ 厳と起ちたる雄々しさよ

二、玲瓏天は澄みわたり 緑風そよぐ田の面に
清楚の息吹感じつつ 集へる学徒いや強く
五つの綱領胸に聞き 厳と起ちたる雄々しさよ

三、紅葉に映ゆる東の 国見の丘の朝夕に
簡素の気風願いつつ 集へる学徒いや強く
至誠貫く意気をもて 厳と起ちたる雄々しさよ

四、清白雪は天に舞ひ 人跡絶えて凍る時
燦たる星を仰ぎつつ 集へる学徒いや強く
高き使命を畏みて 厳と起ちたる雄々しさよ

作詞・古野俊清

松本英三

作曲・信時 潔

(昭和一九年七月八日制定)

深川西高等学校校歌

一、源遠き石狩の 久遠の流れ涯もなき
原始の森の黎明に 土地墾闢の鍬とりて
営々ここに幾星霜 拓けし沃野渺々と
北斗の象徴戴きて 巖と立ちたる吾が母校

二、イルムの嶺に雲立ちて ポプラ並木の緑波
青田を渡る鐘の音に 学びの窓は明け暮れて
清らかに澄める池の辺に やよ映してん吾が心
正義に白き白樺は 自由の空にそそり立つ

三、芽生なる森に磐石の 老松の下佇めば
先人の心ほのぼのと 吾等が胸に通い来る
赤き夕陽の燃ゆるとき 意気高らかに手をとりて
若人の歌謳いつつ 吾が行く道をいざ行かん

四、ああ、幾百の同胞は 北なる空知負い立ちて
高き理想の息吹もて 真理の淵に集い来る
学びの道は永遠の 吾が友がきの絆とて
天の極みの果てるなき 地の果て迄も遠からん

作詞・竹内 晃
作曲・佐々木 昭

(昭和二九年二月四日生徒会の歌として制定)
(昭和四三年八月三日校歌として認定される)

学生の歌

一、雪降りしきる凍原に 鉄をも溶かす炎を燃やせ

春をたたかう日々のために 炎を燃やせ

おお われらの拳を天に突き上げろ

くだけ くだけ 我ら 岩をもくだけ 深川西高

二、堤にそびゆ我が母校 明日をかかげて学徒よ集え

永遠に自由を守るために 学徒よ集え

おお われらの拳を天に突き上げろ

くだけ くだけ 我ら 岩をもくだけ 深川西高

作詞・太田 清

作曲・佐々木 昭

編曲・宮崎 敏

(昭和二十九年二月四日・制定)

逍遙歌

一、空知野 雪に閉ざされ 空は重く 風は凍てて

裸の梢に吹き荒れ 我が学び舎はそこに立つ

よべよべ 春の陽光を けわしい季節の底で

たくましく生命は息づき萌える

その我が学び舎 自由の園 深川 深川西高校

二、音江山 青くたおやかに 雲は流れ 黙す大地は

開拓の歴史を刻み 我が学び舎はそこに立つ

育め育め 永遠の理想を したたる緑に映えて

ひたむきに白樺は天に向かう

その我が学び舎 叡智の光 深川 深川西高校

作詞・戸田 輝夫

作曲・宮崎 敏

(昭和四十三年八月三日・制定)